

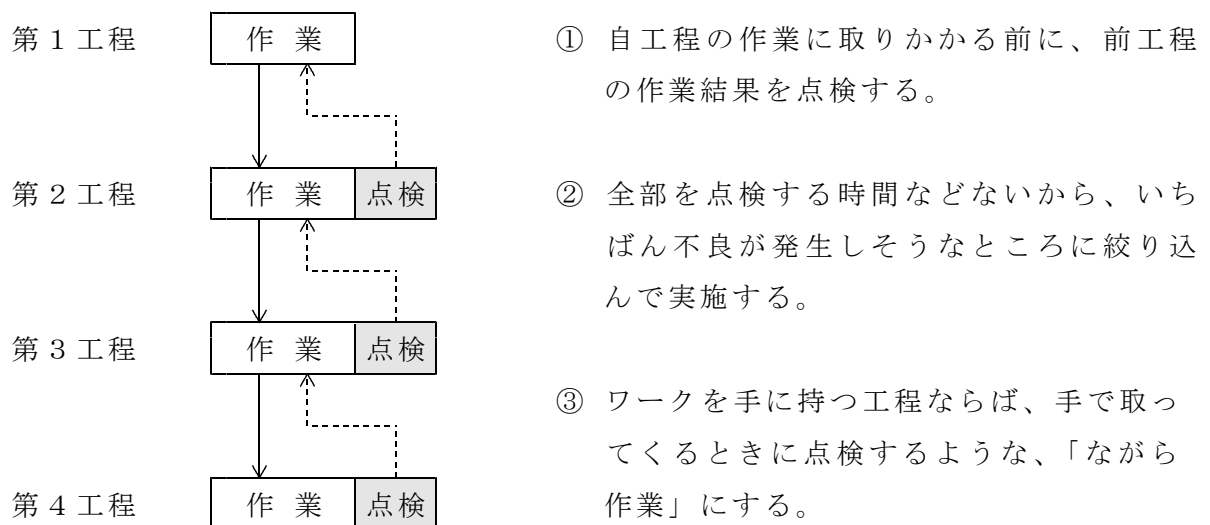


検査は何も付加価値を生み出さない

検査の工程をいくら充実させても、お客さんは喜んではくれない。なぜならば、作り込みの品質のレベルが低いために検査が必要になっているとの判断をするからである。そして、ここにかかるコストも値段の価格の中に入っているのだから、それさえなければもっと安くなるのと思うことだろう。

検査工程を必要悪だなどと言って固定化させないで、工程の能力がないからだとの捉え方をして、少しでも減らしていく方向を追求していきたいものだ。そのひとつの方法が「順次点検」である。

前工程のチェックを瞬間的に行う



ラインを止めてその場で処理をする

順次点検が作業の一部として組み込まれているのだから、異常が発生したらラインを停止するのが原則である。そして、不良の処置をし、再発防止の対策を実施したあとで生産をスタートさせる。これが作業の一部になっていると、速やかに実施しなければならない。このことが成立しない工程では、ラインからはねる対応でもいい。しかしその場合であっても、ライン外のスタッフが速やかに処理をしなければならないことは言うまでもないことである。